

CASBEE あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	世界心道教仮神殿	階数	地下1階地上4階
建設地	愛知県豊川市諏訪二丁目101番	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年7月5日
敷地面積	62,195 m ²	作成者	長谷 恒典
建築面積	2,658 m ²	確認日	2021年7月15日
延床面積	6,453 m ²	確認者	中村健治

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★			
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★	BEE=1.0	標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 91% ③上記+②以外の 91% ④上記+ 91%	Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (敷地内) Q1 室内環境 LR1 エネルギー LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル
環境品質	環境負荷 L	このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもの	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	Q のスコア = 2.4
Q1 室内環境	Q1 のスコア = 2.7
音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.2
Q2 サービス性能	Q2 のスコア = 2.9
機能性	2.4
耐用性	3.0
対応性	3.4
Q3 室外環境 (敷地内)	Q3 のスコア = 1.7
生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.2
LR1 エネルギー	LR1 のスコア = 3.4
建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備シス	2.6
効率的	3.0
LR2 資源・マテリアル	LR2 のスコア = 3.2
水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3
LR3 敷地外環境	LR3 のスコア = 2.8
地球温暖化	3.3
地域環境	2.2
周辺環境	3.1

3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.3	1.0
外構緑化指標(外構緑化面積/外構面積)	
16.9 %	
建物緑化指標(建物緑化面積/建築面積)	
0.0 %	
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.2	1.0
<外装材に使用した地域性のある材料>	
なし	
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	
なし	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指標 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指標 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート	実施設計段階	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体	
				評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	
Q 建築物の環境品質									2.4
Q1 室内環境						0.40			2.7
1 音環境				0.1	3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40			
1.2 遮音				0.4	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						1.00			
2 界壁遮音性能						-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-			
1.3 吸音						3.0	0.20		
2 溫熱環境				0.3	2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50			
1 室温				3.0	3.0	0.38			
2 外皮性能				3.0	3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	0.38			
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	1.0	0.30			
3 光・視環境				0.2	3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用						-			
1 昼光率				3.0	-	-			
2 方位別開口				3.0	-	-			
3 昼光利用設備				3.0	-	-			
3.2 グレア対策						-			
1 昼光制御				5.0	-	-			
3.3 照度				3.0	-	-			
3.4 照明制御				3.0	3.0	1.00			
4 空気質環境				0.2	3.2	0.25			3.2
4.1 発生源対策				0.5	3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	3.0	1.00			
4.2 換気				0.3	3.0	0.30			
1 換気量				3.0	3.0	0.50			
2 自然換気性能				3.0	-	-			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50			
4.3 運用管理				0.2	4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	5.0	0.50			
Q2 サービス性能						0.30			2.9
1 機能性				0.4	2.4	0.40			2.4
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	-	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-			
3 バリアフリー計画	独自			3.0	3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				0.3	1.0	0.30			
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-			
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-			
3 内装計画				3.0	1.0	1.00			
1.3 維持管理				0.3	3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				0.3	3.0	0.31			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		(2)		0.3	3.1	0.33			
1 車体材料の耐用年数				3.0	2.3	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	2.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	4.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	3.0	0.23			
2.4 信頼性		(2)		0.1	3.0	0.19			
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20			
3 電気設備				3.0	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	4.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20			

喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。

屋外露出ダクトにステンレスダクトを使用している。
給水VP(B)、排水VP(B)、消火SGP(白)(C)、EIは不使用。

耐震クラスA

3 対応性・更新性	②	0.1≤ [壁長さ比率] <0.3 電気配線はさや管(PF16・22・28)使用している。 通信配線はさや管(PF16)使用している。	0.2	3.4	0.29	-	-	-	3.4	
			0.3	4.0	0.31	-	-	-		
			3.0	4.0	1.00	-	-	-		
			3.0	3.0	0.31	-	-	-		
			0.3	3.4	0.38	-	-	-		
			3.0	3.0	0.17	-	-	-		
			3.0	3.0	0.17	-	-	-		
			3.0	5.0	0.11	-	-	-		
			3.0	5.0	0.11	-	-	-		
			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	1.7	
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.80。		3.0	5.0	0.30	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				3.0	2.6	0.30	-	-	2.6	
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.2	
1 水資源保護				0.1	3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-		
2 雜排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.3	0.63	-	-	3.3	
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	3.0	0.05	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				-	3.0	0.24	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.3	0.22	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.5	0.68	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				-	4.0	0.50	-	-		
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	2.8	
1 地球温暖化への配慮		①		ライフサイクルCO2排出率: 91%		3.3	0.33	-	3.3	
2 地域環境への配慮				0.3	2.2	0.33	-	-	2.2	
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.0	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減		独自		-	3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制		独自		-	1.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				-	1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				0.3	3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-		
1 騒音		独自		-	3.0	1.00	-	-		
2 振動		独自		-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制				-	1.0	-	-	-		
3 日照阻害の抑制				-	3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	4.0	0.70	-	-		
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-		
光害対策ガイドラインの項目の一部を満たす。 広告物照明は行っていない。				-	-	-	-	-		

重点項目スコアシート
世界心道教仮神殿

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:16.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点 × 全体に対する重み)の総和
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 世界心道教仮神殿

計画上の配慮事項	
総合	主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。
Q2 サービス性能	$0.1 \leq [\text{壁長さ比率}] < 0.3$ 。
Q3 室外環境(敷地内)	防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	BPI _m =0.80。
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率: 91%
その他	特になし。